

安全データシート

改訂日:2022年2月10日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

会社名

住所

電話番号

整理番号

酸化鉛(II)

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪・本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)

(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

AB0258

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性:区分3

生殖細胞変異原性:区分2

発がん性:区分2

生殖毒性:区分1A

特定標的臓器毒性:区分2(血液系/神経系/腎臓)
(反復ばく露)

水生環境有害性(長期間):区分4

環境に対する有害性

*記載のないものは「分類対象外」、「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

軽度の皮膚刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(血液系/神経系/腎臓)

長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

粉じん/ヒュームを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

【救急処置】

ばく露又はその懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪い時は医師の診断/手当てを受けること。

皮膚刺激があれば、医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名

別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

成分及び含有量

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

化学物質

酸化鉛(II)

-

PbO

CAS RN:1317-36-8

酸化鉛(II) 100% (純度98%以上のもの)

鉛として93%

(1)-527

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合	<p>気分の悪いときは医師の診断／手当てを受けること。 皮膚を速やかに洗浄すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 医師の手当、診断を受けること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。</p>
眼に入った場合	<p>水で数分間、注意深く洗うこと。 医師の手当、診断を受けること。</p>
<p>飲み込んだ場合 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状</p>	<p>水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。 急性中毒の症状：四肢の麻痺、痙攣が特徴で、顔面蒼白、嘔吐、下痢、血便、頻脈、腎障害。1～2日で死亡することがある。 慢性中毒の症状：疲労、頭痛、四肢の感覚障害、痙攣、排尿障害など。 吸入した場合：口、喉の痛み、流涎、吐き気、胸痛。 皮膚に触れた場合：発赤。 眼に入った場合：発赤、痛み。 飲み込んだ場合：腹痛、吐き気、嘔吐。 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。</p>
応急処置をする者の保護	
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	<p>周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。</p>
<p>使ってはならない消火剤 特有の危険有害性</p>	<p>火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。 この製品自体は燃焼しない。</p>
特有の消火方法	<p>火災によって刺激性、又は毒性のガスを発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。</p>
消火を行う者の保護	<p>移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。</p>
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	<p>関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。</p>
環境に対する注意事項	<p>周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。</p>
封じ込め及び浄化の方法及び機材	<p>飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散発じんしないようにして、空容器等に回収する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。</p>
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p>
安全取扱い注意事項	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 接触、吸入又は飲み込まないこと。</p>
<p>接触回避 衛生対策</p>	<p>眼、皮膚との接触を避けること。 粉じんを吸入しないこと。 環境への放出を避けること。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。</p>
保管	
<p>安全な保管条件 安全な容器包装材料</p>	<p>容器を密閉して涼しく乾燥した場所で保管すること。 ポリプロピレン、ポリエチレン</p>
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
管理濃度	0.05mg/m ³ (Pbとして)
日本産衛学会	0.1mg/m ³ (Pbとして)
ACGIH	TLV-TWA 0.05mg/m ³ (Pb)
設備対策	<p>この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。</p>

高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具

呼吸用保護具

粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。

眼の保護具

眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

粉末

色

黄色又は赤黄色

臭い

無臭

融点/凝固点

888°C(融点)

沸点又は初留点及び沸点範囲

1470°C

燃焼性

不燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

不燃性

引火点

不燃性

自然発火温度

不燃性

分解温度

該当情報なし。

pH

水溶液は強アルカリ性

動粘性率(粘度)

該当情報なし。

溶解度

0.017g/L(20°C,水)

n-オクタノール/水分配係数

アルコールに不溶、酸、アルカリに可溶

蒸気圧

該当情報なし。

密度及び/又は相対密度

13Pa(1mmHg)(943°C)

相対ガス密度

9.53g/cm³

蒸発速度

7.69(計算値)

該当情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

空气中で500°Cに長時間熱すると四酸化三鉛(鉛丹; Pb₃O₄)が生成し、さらに高温でPbOに戻る。

危険有害反応可能性

強酸化剤、過酸化水素と激しく反応する。

避けるべき条件

アルミニウム粉末と激しく反応する。

混触危険物質

加熱、直射日光

危険有害な分解生成物

強酸化剤、過酸化水素、アルミニウム粉末

火災時に加熱されると分解して酸素と有毒な鉛及び鉛化合物のヒュームを放出する。

11. 有害性情報

急性毒性

該当情報なし。(分類できない)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

ウサギを用いた皮膚刺激性試験結果から軽度の刺激を有すると考えられる。軽度の皮膚刺激(区分3)

眼に対する重篤な損傷性又は刺激性

ウサギを用いた皮膚刺激性試験結果から軽度の刺激を有すると考えられる。軽度の皮膚刺激(区分3)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器: 該当情報なし。(分類できない)

生殖細胞変異原性

皮膚: 該当情報なし。(分類できない)

経世代変異原性試験なし、生殖細胞/体細胞 in vivo 変異原性試験なし、生殖細胞/体細胞 in vivo 遺伝毒性試験なし、in vitro 変異原性試験で複数指標の(強)陽性結果なし、の記述があるが、鉛化合物の職業ばく露に関する報告は多く、ヒト末梢血液で染色体異常あるいは小核(SCE)に関して複数の報告有り)を誘発したとの疫学調査結果も報告されている。遺伝性疾患のおそれの疑い(区分2)

発がん性

NTPでR(ヒト発がん性があると合理的に予測される物質)、IARCでグループ2B(ヒトに対して発がん性があるかもしれない)、日本産業衛生学会で2B(ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質)に分類されている。発がんのおそれの疑い(区分2)

生殖毒性

鉛精錬の疫学調査において有意な流産増加がみられている。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ(区分1A)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

該当情報なし。(分類できない)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	無機鉛化合物の毒性として、ヒトについては「血液、骨髄、中枢神経系、末梢神経系、腎臓に影響を与え、貧血、脳症(痙攣など)、末梢神経疾患、胃痙攣、腎障害を生じることがある。人で生殖・発生毒性を引き起こす。」等の記述があることから、血液系、神経系、腎臓が標的臓器と考えられた。長期又は反復ばく露による血液系、神経系、腎臓の障害のおそれ(区分2) 該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: (急性) 該当情報なし。
	長期: (慢性) 水溶解度までの濃度で急性毒性が報告されていないが、金属化合物であり水中での挙動が不明であるため、区分4とした。
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類:分類できない)
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	3288
品名(国連輸送名)	毒性固体(無機物)n.o.s
国連分類	クラス6.1
容器等級	II
海洋汚染物質	該当しない。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	151
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	第一種指定化学物質〔鉛化合物〕 (2023年(令和5年)3月31日まで) 特定第一種指定化学物質 〔鉛及びその化合物〕 (2023年(令和5年)4月1日以降)
毒物及び劇物取締法	劇物(第2条・指定令第2条)〔鉛化合物〕
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物 (第57条・施行令18条)〔鉛及びその無機化合物〕
	名称等を通知すべき危険物及び有害物 (第57条の2・施行令18条の2)〔鉛及びその無機化合物〕
消防法	施行令別表第4・鉛中毒予防規則第1条第4号〔鉛化合物〕
	貯蔵・取扱いの届出物質(第9条の3 政令別表1及び省令第1条又は別表2及び省令第2条)〔劇物〕
労働基準法	疾病化学物質(第75条第2項・施行規則第35条別表第1の2第4号の1)〔鉛及びその化合物〕
土壌汚染対策法	特定有害物質(施行令第1条)〔鉛及びその化合物〕
水質汚濁防止法	有害物質(施行令第2条)〔鉛及びその化合物〕
大気汚染防止法	有害大気汚染物質に該当する可能性のある物質(中央環境審議会の第九次答申)
船舶安全法	毒物類・毒物(危規則第3条・危険物告示別表第1)
航空法	毒物類・毒物(施行規則第194条・告示別表第1)
16. その他の情報	
参考文献	職場の安全サイト(厚労省HP) 16615の化学商品(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。